



山間部の暮らしについて意見交換する参加者と地元住民（東近江市蛭谷町で）

田舎暮らし 興味津々

都市部の住民に山間部での暮らしについて理解を深めてもらう「田舎暮らし体験プログラム」が、東近江市の永源寺東部地域であり、京阪神などの都市部から参加した約30人が地元の住民らと交流した。

参加者は同市蓼畑町など7集落を見学した後、同市蛭谷町の宿泊施設「木地師や

東近江・永源寺

まの子の家」に集まり、住民らに「救急医療に問題はないのか」「買い物は不自由なことができるのか」などと質問。住民も「本当にここで生活できると思うか」と、真剣に尋ねていた。

参加者の一人、兵庫県宝

塚市、会社員村越裕一さん（59）は「空き家を短期間、貸し出し、生活を実体験できる機会を設けてほしい」と要望。地元の箕川区長・川嶋富夫さん（61）は「永源寺に住んでみようという熱意が伝わってきた」と話していた。

地域に残る複数の空き家の活用方法を探ろうと、県が市や地元の協力を得て初めて実施。参加者は特産のコンニャク作りなども体験した。

京阪神など30人 住民と交流